

特別展 「法華経絵巻と千年の祈り」

The Illustrated Scrolls of the Lotus Sutra and 1000 Years of Prayers

会期：10月5日（土）～11月24日（日）
【前期】10月5日（土）～10月27日（日）【後期】10月29日～11月24日

釈迦如来の教えである法華経は、全てのものが仏になれることと、永久に滅することのない仏になれることを説き、日本で最も信仰される経典のひとつです。当館所蔵の法華経絵巻は、法華経二十八品の祈りの物語を墨と淡彩で爽やかに描き出した絵巻で、鎌倉時代中期まで遡る貴重な作品です。この作品の修理が2023年3月に終了したことを記念して、法華経の内容を絵画化した作品と、法華一品経の歴史にスポットを当て紹介します。また、展示作品全42件のうち、国宝4件、重要文化財11件も前期後期にわけて展示します。



重要文化財
《法華経絵巻》
(香雪美術館蔵)
修理後
初公開!!

長年守り伝えられてきた作品に、横折れやシワができ、ヨレヨレになっていました。今回の修理によって画面が平坦となり、シャキッと見やすくなりました。



① 重要文化財《法華経絵巻》鎌倉時代 香雪美術館蔵

第1章 法華經につづられた物語

法華經を基に、その内容が絵画化された作品は法華經絵といい、經卷の表紙裏の絵（見返し絵）や掛軸などが数多く制作されました。ここでは大画面の掛軸に描かれた代表的な法華經絵を紹介します。

富山・本法寺本は、日本国内では最大規模の法華經絵で、今回展示する4幅のうち
の宝塔品（写真②）では、釈迦と多宝如来が並座する宝塔が豪華に描かれ、法華經絵
の中でもこれほど華やかな作品は他にありません。

②重要文化財《法華經曼荼羅》のうち宝塔品
鎌倉時代 富山・本法寺蔵 【後期】



第2章 法華一品經

法華經を書写することは、最も善い行いである作善^{さぜん}とされ、金銀で飾り、華麗な彩色を施すなどして装飾されました。

その代表的作例が、長寛2年（1164）に平清盛（1118～81）などの平家一門により書写され、広島・厳島神社に奉納された「平家納經」^{へいけのうきょう}です。今回はその平家納經を大正～昭和時代（20世紀）に模造した東京国立博物館本（益田鈍翁旧蔵）^{ますだどんのう}を展示します。

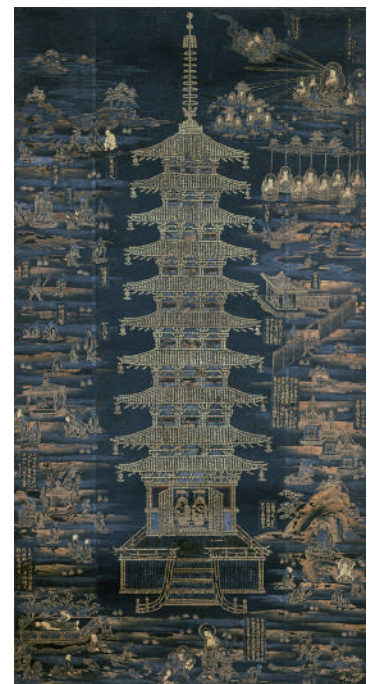


③平家納經模本（益田家本）のうち寿量品
大正～昭和時代 東京国立博物館蔵 【後期】

第3章 金銀の法華經世界

藍色で染めた紺紙に金銀泥を用いて書写した紺紙法華經は、日本では11世紀以降盛んに制作されました。

法華經宝塔曼荼羅^{ほけぎょうほうとうまんだら}は、法華經の經文でもって宝塔を形作り、宝塔周囲に法華經絵を描いた掛軸です。小さな文字で書写された宝塔を形作る經文はその細かさに目を見張ります。



④堺市指定文化財《法華經宝塔曼荼羅》
鎌倉時代 大阪・妙法寺蔵

第4章 法華経絵巻

法華経の物語を視覚化した絵画をつけた作品が鎌倉時代中期（13世紀）に制作されました。それが「法華経絵巻」です。この絵巻はもともと、二十八品すべてが揃った大規模な作品だったと考えられますが、法華経に関する美術品の中でも、二十八品の内容をこれほど詳細に表した作品は他にありません。今回、香雪本は修理後初の展示となります。修理過程で行った光学調査や科学分析の成果等を踏まえて、制作当初の「法華経絵巻」を考えてみたいと思います。



①重要文化財《法華経絵巻》鎌倉時代 香雪美術館蔵

第5章 法華絵巻の絵のルーツ

日本の法華経絵は決して国内だけで育まれたものではありません。中国や朝鮮半島で制作された作品に影響されながら、発展・変化してきたと見られています。どのような法華経が、どのように影響を与えたのでしょうか、中国・朝鮮・日本の作例を見ながらその影響関係を考えます。



⑤京都府指定文化財《法華経》のうち巻第一
朝鮮・至元5年（1339）京都・妙顯寺蔵【前期】

第6章 法華経を説く時

法華経は釈迦如来が説いた教えを物語で綴ってゆきます。現在、奈良国立博物館が所蔵する「釈迦靈鷲山説法図」は、法華経の教説に基づいて描かれており、元は当館のコレクションを収集した村山龍平の所蔵であり、当館ゆかりの作品といえるでしょう。村山の手を離れて、初めての帰還となります。

釈迦の語る法華経はけっして過去の遺物ではありません。法華経の信仰が現代まで脈々と受け継がれたことを示す作品とともに、その歴史をたどります。



⑥重要文化財《釈迦靈鷲山説法図》
鎌倉時代 奈良国立博物館蔵【前期】

開催概要

- 【展覧会名】 特別展「法華経絵巻と千年の祈り」
- 【会 期】 2024年 10月5日（土）～ 11月24日（日）
- 【会 場】 中之島香雪美術館（大阪市北区中之島3-2-4中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階）
- 【休 館 日】 月曜日（祝・休日の場合は翌火曜日）
- 【開館時間】 10時～17時（入館は16時30分まで）
- 【夜間特別開館】 2024年 10月10日（木）、10月31日（木）、11月19日（火）～ 11月22日（金）
10時～19時30分（入館は19時まで）
- 【主 催】 公益財団法人香雪美術館
- 【協 力】 株式会社岡墨光堂
- 【後 援】 京都新聞
- 【お問い合わせ】 TEL06-6210-3766 FAX06-6210-4190（中之島香雪美術館）
<https://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/>

公式 HP



SNS



- 【入 館 料】 一般1,700（1,500）円、高大生 1,000（800）円、小中生500（300）円
（ ）内は前売り・20名以上の団体料金・夜間特別開館（午後5時以降）の割引料金
前売り券は 6/29～10/4 まで、中之島香雪美術館、フェスティバルホール・チケットセンター、主要プレイガイド、
コンビニエンスストア、公式 HP（オンラインチケット）で販売します。

法華経絵巻展絵解き

法華経の絵を見ながら、
わかりやすく解説！

- 【講 師】 ますだ えいしん 梶田 英伸 氏（浄土宗僧侶、三河すーぱー絵解き座所属）
- 【日 時】 2024年 11月10日（日） 14：00～15：30
- 【会 場】 中之島会館（当館隣）
- 【参加料】 500 円（展覧会観覧には別途入館料が必要）
- 【定 員】 280 名（事前申し込み・先着順）
- 【受付開始】 2024 年 7 月 20 日（土）

【応募方法】 ウェブサイト：当館HP 上の専用フォームをご確認ください。

往復ハガキ：1通で2名様まで応募可能。参加人数、それぞれの住所、氏名、年齢、電話番号を
明記ください。返信ハガキの宛先には、代表者の住所・氏名をご記入ください。
返信ハガキで参加証を郵送します。

○宛先○

530-0005 大阪市北区中之島 3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階
中之島香雪美術館「法華経」展 講演会係

トークイベント

【トークイベント】「フリースタイルな僧侶たちの経トーク」

【内 容】「フリースタイルな僧侶たち」の僧侶お二人に、お経をテーマにトークいただきながら、みなさまから事前に募集したご意見にもお答えします！

【日 時】2024年10月14日（月・祝）、11月3日（日・祝）
14：00 から 50 分程度

【会 場】中之島香雪美術館（大阪市北区中之島3-2-4中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階）

【参 加 費】無料 ※参加は無料ですが、入館料が必要です。

「フリースタイルな僧侶たち」とは？
公式 HP はこちら➡



【ギャラリートーク】特別展「法華経絵巻と千年の祈り」

【内 容】学芸員が作品について解説

【日 時】2024年10月12日（土）、10月26日（土）、11月16日（土）
15：30 から 1 時間程度

【会 場】中之島香雪美術館（大阪市北区中之島3-2-4中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階）

【参 加 費】無料 ※参加は無料ですが、入館料が必要です。

特別🌙夜間開館

【日 時】2024年10月10日（木）、10月31日（木）、11月19日（火）～11月22日（金）
10時～19時30分（入館は19時まで）

【料 金】17時以降、ご入館の方は200円引き！！

一般1,700円 → 1,500円、高大生1,000円 → 800円、小中生500円 → 300円

ミュージアムグッズもお見逃しなく！



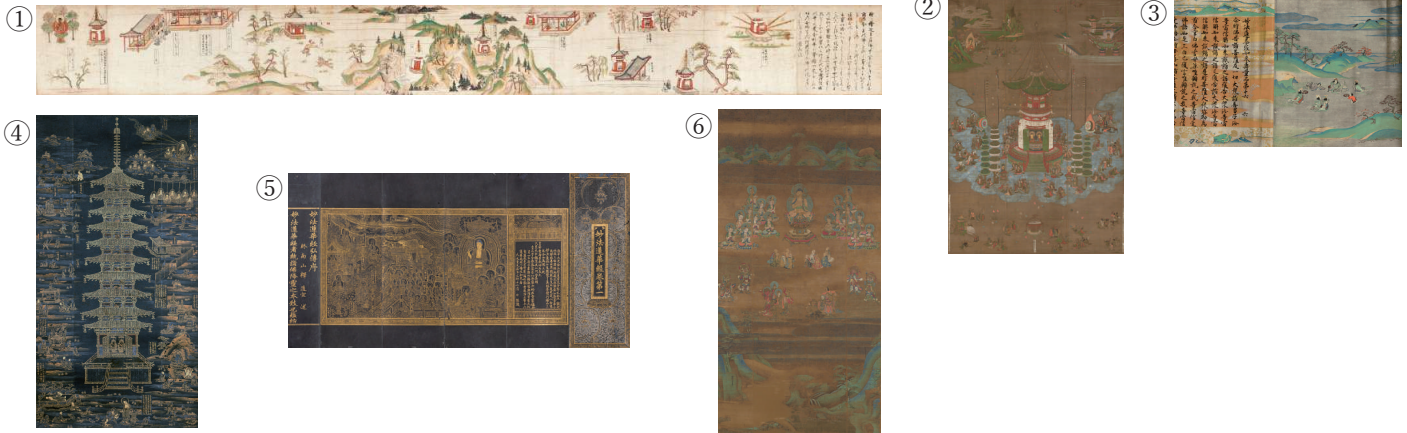
広報画像使用申込書

画像使用の注意事項

ご希望の方は申込みフォーム(下記二次元コード)または本紙をメールかFAXにてお申込みください。



- ◆企画書など概要がわかる書類の提出をお願いします。
 - ◆原稿および記事については、確認のため、掲載前に広報担当宛てにお送りください。
 - ◆掲載・放送後は、掲載誌等の送付をお願いします。
 - ◆画像の名称（作品名）、指定、展示期間、所蔵元、クレジット（ある場合）を記載してください。
 - ◆サイズは、（web 掲載用）長辺 1000px 100dpi（紙媒体用）長辺 1000px 300dpi まで。
 - ◆web 掲載の場合、掲載期間を最長 6 ヶ月とし、その後は削除をお願いします。
- それ以上の期間掲載をご希望の方は、再度ご連絡ください。



①	重要文化財 ほ けきょうえ まき 《法華経絵巻》鎌倉時代 香雪美術館蔵
②	重要文化財 ほ けきょうまん だら 《法華経曼荼羅》のうち宝塔品 ほうとうほん 鎌倉時代 富山・本法寺蔵
③	平家納経模本（益田家本） へい け のうきょうも ほん うち寿量品 ますだ け ほん 大正～昭和時代 東京国立博物館蔵【後期】
④	堺市指定文化財 ほ けきょうほうとうまん だら 《法華経宝塔曼荼羅》鎌倉時代 大阪・妙法寺蔵
⑤	京都府指定文化財 ほ けきょう 《法華経》のうち巻第一 朝鮮・至元 5 年（1339）京都・妙顯寺蔵【前期】
⑥	重要文化財 しゃ かりょうじゆせんせつ ぼう ず 《釈迦霊鷲山説法図》鎌倉時代 奈良国立博物館蔵【前期】

取 材 者	会社名	担当者名(連絡者)
	住所 〒	TEL
	E-mail	取材人数 名
媒 体	種別 ☐ テレビ ☐ ラジオ ☐ 新聞 ☐ 雑誌 ☐ その他()	
	番組名・コーナー名	
放送・発行日等	(西暦) 年 月 日 時 分 ~ 時 分	
備 考		

報道関係のお問い合わせ

「中之島香雪美術館」広報担当

TEL 06-6210-3766 FAX 06-6210-4190 Email n-kouhou@kosetsu-museum.or.jp